

# おもしろ英語発見～会話・表示・カードに見られる表現～

木曽川中学校

伊與田 恵 美

## 1 はじめに

ことばは心を伝えるコミュニケーションの手段の一つである。その表現によって、話し手・書き手の気持ちや考えが理解できる。「なま」の英語から、アメリカの文化やアメリカ人の価値観に触れることができるのではないかと考え、今回の14日間というありがたいこの機会に、教科書にはないけれど、私自身が興味深いと思われた表現を会話・表示・カードから集めてみた。/ は、そこで改行されていることを示しているが、実際のものにはない。

## 2 英語表現

### (1) 会話

Are you interested in taking a rest?

ホームステイ先の Wilson 家の Betty に尋ねられたものである。ミネソタの美しい湖を見につれていってもらい、長いドライブの後で聞かれたため、とても簡単な表現であるにもかかわらず、咄嗟に判断がつかなかった。ことばには、それを用いる状況、即ち pragmatics があるということを思い出した。

Excuse me. Sorry to bother you. I need to get away.

ミネアポリス・セントポール空港からサンフランシスコ空港に向かう途中、隣の座席に座っていた男性に言われたものである。彼は窓際に座っており、お手洗いに行くには私が席を立たなければならない。日本人同士であればことばを交わさなくても、あるいは Excuse me. だけでも相通ずるものがあるが、今回明確に言われたのは幸運だった。教科書には載っていないが、ぜひ使える表現として生徒には教えておきたい。

### (2) 表示

Please stand clear of the doors.

ミネアポリス・セントポール空港内の移動モノレールの駅で見たものである。Clear は本来、邪魔・危険などの妨げるものがなく、視界が遮られない状態が本義。電車や扉に巻き込まれないための注意を促す表示。

No loitering

アメリカ最大級のショッピングモールがミネソタにある。この大きな建物の駐車場で発見。目的もなくふらふら彷徨する者への注意を促す看板である。(写真A)

Lord, if I can't be SKINNY / Please let my friends be FAT

サンフランシスコの雑貨屋に置いてあったステッカー。他にもアメリカン・ジョークが覗われる表現がいくつかあった。

Peel away the ponds

現在アメリカでは肥満が社会問題の一つになっている。成人の6割が肥満だとい